

# 県道 708 号(秦野大井)篠窪バイパスの開通後の交通状況の変化

## ○事業概要

県道 708 号(秦野大井)は、秦野市内の国道 246 号から大井町内の県道 77 号(平塚松田)に至る延長約 6.1 kmの路線であり、秦野市と大井町を結ぶ唯一の幹線道路です。

本路線は、国道 246 号の迂回路として朝夕には通過交通が増加していますが、大井町篠窪地内では、幅員狭小で線形も屈曲しており人家連坦の区間もあるため、バイパス整備を進め、平成 30 年 3 月 10 日に開通しました。



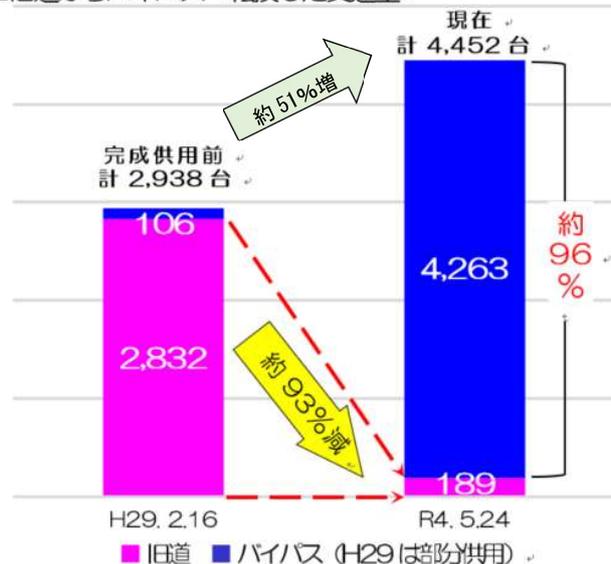
## 旧道の交通量が減少し、バイパス道路へ転換されました

■旧道からバイパスへ転換した交通量

バイパス道路の整備により、

- ・旧道の交通量が、開通前に比べ、約 93%減少しました。
- ・本路線の利用台数が、開通前に比べ、約 51%増加しました。

※ 平日 12 時間(7:00~19:00)の交通量



### ○地元住民の声

交通量が大幅に減って、歩行者や自転車が安全に通行できるようになった。

### ○通勤利用者の声

道幅が広いバイパス道路が整備されて、すれ違いのストレスがなくなり快適に走れるようになった。また、通勤時間も短縮されて便利になった。

### ○地元自治体(大井町)の声

平成 30 年 4 月に未病バレー「ビオトピア」がオープンしたが、バイパス道路を利用して秦野方面から訪れる人が増えている。